

第5回 化粧品技術専門講習会 「乳化・可溶化・液晶講座」

～理論と実務をつなぐ化粧品の界面化学を一日で学び尽くす！～

開催のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は日本化粧品工業会および日本化粧品技術者会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。日本化粧品技術者会では、化粧品技術の専門知識をより深く学び、実務に活かすための機会として「化粧品技術専門講習会」を開催しております。本講習会では、今後も毎年様々な分野のテーマを扱う予定です。このたび、コロナ禍による中断を経て数年ぶりに、第5回となる本講習会を、東京会場と大阪会場をオンラインで結ぶサテライト方式にて開催いたします。

今回は、化粧品の製剤技術を支える重要な基盤のひとつである界面化学に焦点を当て、理論と実践の両面から幅広く掘り下げる構成いたしました。処方設計や製剤開発に携わる皆さまにとって、日々の業務で培った経験を理論的に再整理するとともに、知識や発想をさらに高め、実務へと還元できる有意義な学びの機会となる講習会です。

講師には、化粧品業界における界面化学分野の第一人者であり、長年にわたり企業研究と教育の両面で業界を牽引してきた日光ケミカルズ株式会社 中央研究所 エグゼクティブフェロー／工学博士 鈴木敏幸 先生(東京会場)、武庫川女子大学 薬学部 教授／工学博士 渡辺啓 先生(大阪会場)をお迎えいたします。両先生による交互登壇の講義により、“現場で役立つ知恵”として深く掘り下げていただきます。

さらに講義の最後には、事前に参加者から募った質問に対してお二人の先生が直接回答するQ&Aトークセッションを設け、受講者の実務課題や疑問を解決する双方向的な学びの場といたします。

「乳化・可溶化・液晶」を体系的に学べるのは数年に一度の貴重な機会となります。最新の知識と実務の架け橋として、ぜひこの機会にご参加ください。

記

1. 開催日時 2026年2月26日(木) 10:00～17:00 (受付開始 9:30)
2. 開催場所 東京会場 : MEETING SPACE AP 新橋 (受講者定員 120名)
 〒105-0004 東京都港区新橋 1-12-9 新橋プレイス 4F D+E ルーム
 TEL : 03-3571-4109
 Map : <https://goo.gl/maps/tvkN6SMDTNqo6JtbA?fsi=YX5Kc1v2>
 JR線・東京メトロ銀座線「新橋駅」より徒歩1分
 大阪会場 : MEETING SPACE AP 大阪淀屋橋 (受講者定員 80名)
 〒541-0041 大阪市中央区北浜 3-2-25 京阪淀屋橋ビル 4階 L+M ルーム
 TEL : 06-6204-0109
 Map : <https://goo.gl/maps/RURaNUhvKKFpKEMT8>
 地下鉄御堂筋線・京阪線「淀屋橋駅」より直結



3. 受講対象 乳化・可溶化・液晶など、界面化学分野の知識を活かした業務に携わる中堅～ベテランの化粧品技術者、ならびに関連分野の専門職の方々
定員 東京会場:120名 大阪会場:80名（先着順）

4. 参加資格 日本化粧品工業会の会員企業の社員（参加者ご自身でご確認ください）
(<https://www.jcia.org/admin/memberlist>)
または

日本化粧品技術者会会員のいる企業・団体の社員（社内でご確認ください）
別紙プログラム参照

5. 講習内容

6. 講習会費 1名につき ¥30,000（不課税） テキスト・昼食付

※テキストは当日お渡しいたします。

※講習会費には、昼食代を含んでおります。

※免税事業者のため課税事業者登録番号は登録しておりません。

また、領収書も発行いたしません。

7. 問合せ先 日本化粧品技術者会 講習会事務局 edu@sccj-ifsc.com

8. 申込期間 2025年11月14日(金) 9:00 ~ 2026年1月29日(木) 17:00

9. 申込み手順

- ・それぞれ希望する会場の受付サイトから、受講希望者がお一人ずつお申込みください。
- ・後日、受講していただける方には、受付番号と講習会費の振込先をメールでご連絡しますので案内が届いてから指定する銀行口座にお振込みください。
- ・先着順で受講していただく方に順次ご案内をしますが、申し込んでから10日経ってもメールが届かない場合は、日本化粧品技術者会講習会事務局（上記）にメールにてお問合せください。
- ・同じ会社からお申込みいただいた場合も先着順で受講者を確定させていただきます。申込後に社内で受講者を変更したい場合は、次項「キャンセルおよび受講者変更について」をご覧ください。
- ・定員に達しても数日間は申込サイトが開いています。申込ができても受講できるとは限りませんので、事務局からのメールをお待ちください。受講していただけない場合もご連絡はいたします。

■東京会場での受講を希望される方の申込はコチラから
<https://forms.gle/a5E2ZfkyHuAZsmMk6>

■大阪会場での受講を希望される方の申込はコチラから
<https://forms.gle/EFPuyKpVLN51wV6E6>



10. 振込期限 2026年2月6日(金) 17:00

11. キャンセルおよび受講者変更について

- ・キャンセルおよび受講者変更等のご連絡はすべて、事務局にメールでご連絡ください。
両会場 edu@sccj-ifsc.com 日本化粧品技術者会 講習会事務局

・お申込み後キャンセルされる場合は、必ずご連絡ください。

※振込をしていない場合であっても、キャンセルの連絡は必要です。

必ず申し込まれた会場を管轄する事務局にご連絡ください。

※振込をされた場合で、2月13日(金)までにご連絡いただければ、振込手数料を差し引いた金額を返金します。上記期限以降のキャンセルは返金致しかねますので、ご了承ください。

- ・**社内で受講者を変更される場合は**、2月6日(金)までに、申し込まれた会場を管轄する事務局にご連絡ください。なお、会場の変更はできません。同一会場内での受講者変更のみが可能です。

以上

【別紙】

第5回 化粧品技術専門講習会「乳化・可溶化・液晶講座」
～理論と実務をつなぐ化粧品の界面化学を一日で学び尽くす！～ プログラム

2026年2月26日（木）10:00～17:00開催

時間割	所要時間	登壇者	講義内容	
10:00～10:05	5	矢作委員長	開会のあいさつ	
10:05 ～10:45	40	鈴木 敏幸 氏	1. エマルションの基礎【実用編】	乳化、可溶化の違いは? エマルジョンの調製法：物理化学的手法(分散法と凝集法)と機械的手法 乳化安定化の理論 実用系(化粧品エマルション)の処方構成 適切な乳化剤選択の第1歩:HLB数と所要HLB
10:45 ～11:25	40	渡辺 啓 氏	2. 界面活性剤の挙動	界面活性剤の基本 (構造と特徴、cmcの概念、クラフト点・墨点、CPP、多価アルコールが墨点に及ぼす影響) ミセルと可溶化 界面活性剤の会合体形成 偏光および流動性観察、X線散乱による構造決定 α型水和結晶の構造と特性、液晶との違い
11:25 ～12:15	50	鈴木 敏幸 氏	3. 乳化、可溶化と相図 4. 分子集合体とエマルション	相図って何？ 基本ルールと読み方・作り方 界面活性剤の性質と能力を知る：2成分系の相図 乳化、可溶化への相図の利用：3成分系と相図と読み方、選び方 適切な乳化プロセスを知る：同じ処方で状態が異なる理由 マイクロエマルションを理解しよう：状態と生成 微細なエマルションを調製するための根本原理 液晶/D相を用いた微細エマルション調製とゲルエマルション マイクロエマルションからナノエマルション調製と安定化法 分子集合体形成による粘弾性挙動制御：クリームはなぜできるのか？
12:15～13:00	45		昼食（準備いたします。）	
13:00 ～13:40	40	渡辺 啓 氏	5. 革新的な付加価値を生み出す 応用乳化テクノロジー	高圧乳化を用いたナノエマルション 高内相比W/Oエマルション α型水和結晶による乳化安定化 ベシクルによる乳化安定化
13:40 ～14:40	60	【前半】 鈴木 敏幸 氏 【後半】 渡辺 啓 氏	6. 液晶技術から見る クレンジング処方の歴史と進化	化粧品クレンジング処方の発展を、時代の流れとともに振り返ります。 初期のコールドクリームやO/W型処方に代表される旧来処方の時代から、 自己乳化型液晶ゲルやオイルクレンジングへと発展した液晶技術の応用時代、 さらに両連続型マイクロエマルションやスポンジ相、起泡性ハイブリッド両連続マイクロエマルションクレンジングへと進化した高度な界面構造の応用時代、 そして多様な剤型が生まれた多様化の時代へ——。 こうした処方進化の軌跡を、各時代の代表的な製品技術やコア理論、 さらには市場トレンドと結びつけながら、お二人の先生にパントツチ形式でご解説いただきます。
14:40～14:50	10		休憩	
14:50 ～15:50	60	両先生	7. 挑戦・失敗・発見 —商品開発の現場から学んだこと	化粧品の開発現場では、成功の裏に数多くの試行錯誤があります。 本講義では、処方設計や製品化の過程で直面する“壁”や“失敗”をどのように乗り越え、次の発見へつなげてきたかを、お二人の先生の経験をもとに、実際の開発現場で得られた学びとともに紐解きます。
15:50～16:00	10		休憩	
16:00 ～17:00	60	両先生	8. トークセッション	事前に受講者の皆さまからお寄せいただいた質問をもとに、Q&A形式で理解を深めます。
17:00～	5	徳永部会長	閉会のあいさつ	